

朝の会・倫理研究所は、宗教法人ではありません。

国が、唯一認めている民間組織団体です。講演会にはいつも文部科学省が後援をしています。

朝の会の理念はとて素晴らしいのです。それを一言で言えば「いつもはいい！」「素直であること！」に尽きるでしょうか。これは、教師としてのわたしが、楽器上達の条件として、生徒さんにはじめに、お話、お願いをすることと同じことなのです。ゆめのsalonの特色がこれ、なのです。いまの学校教育は、ピアノのレッスンも、成果をあげるのに必要なものは、素質・天与の才能、と努力、というのが一般の常識でしょう。そして、人生の幸福への道、自己実現に必要なものも、これだと思えます。

早起きの会に出会って、最初に思ったことは、「どうしてこんないいことを、学校で教えないのだろう?!」ということでした。

戦後半世紀、・道徳・修身・倫理といえはなぜか反対をする方が多くて、教育からそれらが抜けていました。

朝の会は、宗教ではない。いいものはそれが宗教であってもいいわけですが、最近の日本では、「宗教」とりわけ新興宗教をきらう方が多いようですね。それは、オームのような、得体の知れない宗教法人のあること。また、病気が治る・お金が儲かる、そんなために入信する人が多く、また組織的な勧誘でお金を儲ける手段として、宗教法人を設立する人のあること、などからだと思えます。ある宗教ジャーナリストの話では、どこの宗教も、信者は純粹、だがその内部、裏はお金儲けの世界である。という話です。でも宗教の世界では、奇跡がたくさん起こっているのです。

願いは叶うのです！ 祈り信じる力は強い！

今の日本人は、一般に宗教に無関心の人が多いようですね。わたしのまわりには、いろいろな宗教の信者がいらっしやいます。新興宗教をちょっとばかにしたような人達よりも、信仰を持っている人の生き方の方がずっと真面目で真摯、立派に思われます。

わたしは、宗教というものは人間にとって自然なもの、と思っています。わたしはどんな宗教に誘われても、決して入りません。が、仏壇に、神棚に、手を合わせてご先祖様に感謝をし、こっそりお願い事をすることもあります。

わたしにとっての神は、宇宙をつかさどる、「神」としか呼べないもの、遺伝子研究者村上和夫氏が「サムシング・グレート」と称される、そんな神。宇宙の中心？！「3」で物議をかもしたあの円周率の「π」いまだコンピューターでも割り切れないその究極……？！ことばにならないそれ！なのです。

生き方は、「自然の理に従うこと」です。人間がみんな、自分の中に自然に備わっている、正しいことをわかる本能、良心、に従って生きれば、法律は必要がなく、裁判所も、刑務所も要りません。それが人の我欲愚怠・・・でトラブルが起き、そしてその度に新しい法律の条文が増えてゆくことは哀しいことです。

わたしはあまり腹を立てない、怒りません。でもわたしに腹を立てさせることがあります。それは、人の作った法律が、自然の理より優先されて、正と悪が逆転して認められるときです。弁護士さんは、真に正しい正義の味方であってほしいです。お金儲けを優先させずに・・・。

わたしは「音楽は宗教・芸術も教育も宗教」と思っています。これを説明するのはむづかしい。でもいずれ、だれにでもわかっていただける言葉にしたい、と思っています。

なんだか宗教観を話しましたが、朝の会は宗教ではありません。今日は雪が舞っています。寒～い。水も土も凍りました。でも毎日毎日、日が長くなってきています。陽の光の明るいこと！きらきらと輝いています！春がもうそこに来ているのが感じられます！

そのうち朝5時にはすっかり夜が明ける日もまじかです。

朝の会はとてもいいのです。ホームページをお読みになりましたか。

いちど早起きをして、朝の会に出席してみてください。